

“LOVE in Action Meeting (LIVE)”



フォトレポート

日本赤十字社が若年層へ献血の大切さを伝え、献血への協力を呼びかけるプロジェクトとして2009年より立ち上げられた『LOVE in Action』。6月14日の『世界献血者デー』を盛り上げるべく、2017年で8回目となる『LOVE in Action Meeting (LIVE)』が開催されました。

プロジェクトリーダーの“レモンさん”こと山本シュウさんと、ラジオ番組『LOVE in Action』のパーソナリティを務める川田裕美さんが司会を務める中、本プロジェクトに賛同したアーティストたちによる熱いパフォーマンスも披露され、献血の大切さを考える一夜となりました。



トップバッターを飾るのは、初登場となる5人組ボーカルグループ「Little Glee Monster」。メンバーが皆10代であることから、『私達を通して10代の方も献血に行けることや献血の大切さを伝えられたら』と語り、力強い歌声で全5曲を熱唱。会場を熱気て包み込みました。

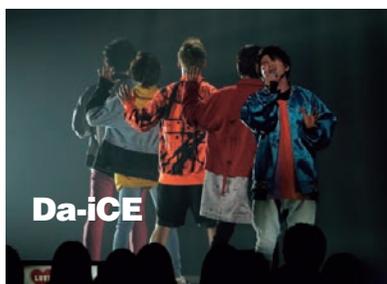


ティーンを中心に人気を集めるガールズバンド、「SILENT SIREN」は、昨年に続き3回目の出演。ボーカル&ギターのすうさんは「献血の大切さを再確認します。世界中の頑張っている人を私達の少しの勇気で助けられると信じて、みんなで献血ができればいいと思っています。」と献血の重要性を呼びかけました。



人気ロック・バンド「KANA-BOON」。「人のために何かをすることが当たり前になったらいいなという想いを込めてつくりました」と平成29年の「はたちの献血」キャンペーンソングに起用された『君を浮かべて』を披露。ボーカル・ギターの谷口鮎さんは初めての献血体験を振り返り、献血へのきっかけを呼びかけました。

日本赤十字社で学生ボランティアを行っている吉崎菜さんは、自身がやっている活動を写真とともに紹介。
また、シークレットゲストとして登場した小林麻耶さんは、「妹も癌になり、輸血を受けて皆さんに助けられました。献血にご協力頂き、ありがとうございます」と感謝の言葉とともに命について訴えかけました。



5人組ダンス&ボーカルグループ「Da-iCE」。ボーカルの花村想太さんは「ひとりひとりが献血に行って、ひとりでも多くの人を助けて最高の絆を広げていけたらなという想いを込めて歌います」と思いを語りました。「LOVE in Action 最高！」と圧巻の大トリを飾りました。

小林麻耶さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。
(このコメントは2017年6月6日に行なわれた「LOVE in Action Meeting (LIVE)」のステージ上でのものです。)



ボランティア活動紹介



小林麻耶さん
(シークレットゲスト)

詳しいライブレポートはコチラ！



<http://ken-love.jp/report2017/>